

点検・不動産利活用

持続可能な社会への取り組み

第5回

一般財団法人日本不動産研究所

木更津市は、森・里・川・的に行動しようとする人を育
海が存在する自然豊かなまちむ、②自然と共に発展する持
として「木更津市・人と自然続可能なまちの基礎を整備す
が調和した持続可能なまちづる、③多様なあり方を認め合
くりの推進に関する条例」い、支え合う、自立した地域
(通称・オーガニックなまち社会の仕組みを構築する—
づくり条例)を16(平成28)の三つであるが、基本理念②
年12月15日に施行し、「オーの施策の一つが「地域特性」
ガニックなまちづくり」を推の実現である。
進している。

「オーガニックなまちづくり」とは、「オーガニック」を、「持続可能な未来を創るため、地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする考え方」と捉え、これを「まちづくりの視点として、人をする」とことである。

自然保全

30年のあるべき姿

自然保全と経済循環の両立を

オーガニックなまちづくり 木更津市

黒山、千瀬が次世代に継承されることを期待したい。



複数の里山の会が活動する（写真の里山は「箕子」）

「オーガニックなまちづくり」の基本理念は、①地域、社会、環境等に配慮し、主体的な取り組みを策定している。主要プロジェクトである「木更津発酵都市化プロジェクト」の目標年次である30年達成につながると考えている。ここでは、「オーガニックなまちづくり」のうち人と自然との調和に焦点をあて木更津市の取り組みの一端を紹介したい。

「オーガニックなまちづくり」の基本理念は、①地域、社会、環境等に配慮し、主体的な取り組みを重点的に推進する計画として「アクションプラン」を策定している。主要プロジェクトである「木更津発酵都市化プロジェクト」の目標年次である30年達成につながると考えている。ここでは、「オーガニックなまちづくり」のうち人と自然との調和に焦点をあて木更津市の取り組みの一端を紹介したい。

市民団体などが保全に取り組む盤洲干潟（北部クリーク）

A black and white photograph capturing a serene landscape. In the foreground, a wide expanse of water reflects the light from a bright, partially obscured sun. The middle ground is dominated by a dark, densely forested hillside that slopes upwards. The background is filled with a dramatic sky, where large, billowing clouds are illuminated from behind, creating a stark contrast between the light and dark areas. The overall composition is peaceful and emphasizes the natural beauty of the scene.

目標の一つが「森・里・川・等、適正な森林の整備・保全等につなげる努力をしていく。」

等、適正な森林の整備・保全を行うことにより、森林の多さを全につなげる努力をしていく。

海とつながる二つの大きな取り戻す」と、その施策が「自然資本の保全・活用」であり、具体的な取り組みが流出の防備、水源涵養機能の面的機能の復元による温室効果ガスの削減や土壤の浸食・たサイクルツーリズムを開拓する。魅力ある自然の景観を活用し、自然の景観活用としては、森林の多くが行なわれている。

「森林の保全・活用」、「干潟 向上、生物多様性の保全等の
の保全・活用」及び「自然の 確保を目指している。 里山の保全については、千

干潟の保全・活用を目的とした「景観活用」である。

里山の保全については、千葉県も豊かな里山を次の世代へ
用として

森林の保全・活用として、は、約1400haの干瀬である盤洲干瀬を通して、ボラン「千葉県里山の保全、整備及
は、里山の荒廃による景観形に引き継ぐことを目的として

成や水源涵養等の森林の持つ ティア団体や環境保全に取り び活用の促進に関する条例

多面的機能の低下を背景に、組む市民団体の活動等を通じて、木更津市内を施行しております。

森林所有者等と連携のもと、より多くの人々に自然環境にもいくつかの里山の会が活

間伐や被害林の伐採、植栽の大切さを知つてもらい、運動している。このような活動

が文字通り有機的に作用し

まちづくり
木更津市

金匱要略 卷之三

三全音節歌の詞文二三
是口一源方沙士作に續有之
れど、三三用寺ノ事也。

新潟県の歴史を これでことを期待したい

卷之二

小出修身